

研究種目：基盤研究（C）  
研究期間：2007～2010  
課題番号：19520082  
研究課題名（和文）ワルシャワ・ゲットーでの文化活動に関するイディッシュ語資料に基づく  
思想史的研究  
研究課題名（英文）A study of cultural activities in Warsaw Ghetto through reading of  
Yiddish materials from the point of history of ideas  
研究代表者  
細見 和之（HOSOMI KAZUYUKI）  
大阪府立大学・人間社会学部 教授  
研究者番号：90238759

研究代表者の専門分野：ドイツ思想

科研費の分科・細目：哲学・思想史

キーワード：カツェネルソン、ツケルマン、ワルシャワ・ゲットー、イディッシュ、ナチ、ホロコースト、ショアー

### 1. 研究計画の概要

従来は最終段階における「武装闘争」に焦点が置かれてきたワルシャワ・ゲットーについて、そこにおけるユダヤ人たちの文化活動を、詩人イツハク・カツネルソンと活動家イツハク・ツケルマンの関係を軸にして、思想的な観点から研究する。その際、ヤド・ヴァシエム（エルサレム）、ユダヤ史研究所（ワルシャワ）、YIVO（ニューヨーク）という3つの研究所で資料調査にあたり、重要なテキストを翻訳しつつ、その成果を学会発表、論文、著作の形で公表する。

### 2. 研究の進捗状況

1年目にはカツェネルソンのワルシャワ・ゲットーでのイディッシュ語作品、歴史家リングルブルムのイディッシュ語資料を読み込む作業とともに、ワルシャワのユダヤ史研究所、エルサレムのヤド・ヴァシエムで資料収集にあたった。また、カツェネルソンの代表的研究者シェイントゥフ教授（ヘブライ大学）とワルシャワ・ゲットーとカツェネルソンについて懇談し、ハイファ郊外のキブツで、ワルシャワ・ゲットーでカツェネルソンの芝居に役者として関わっていたハヴカ・ラバンさんに当時の模様をインタビューし、その成果を神戸・ユダヤ文化研究会で発表するとともに、共著の形で公表した。

2年目にはカツェネルソン、リングルブルムの作品・資料の読み込みを継続するとともに、ニューヨークのYIVOを訪れ、イディッシュ語、英語での資料収集にあたり、その成果を神戸・ユダヤ文化研究会で発表した。同

時に、当時のユダヤ人の思想動向を示す重要な著作ローゼンツヴァイク『救済の星』を翻訳刊行し、1920年代から30年代にかけて「ユダヤ・ルネサンス」とも呼ぶべき思想史的状況にあったことを明らかにした。

3年目にはカツェネルソンのイディッシュ語大作「ラジンのレベ」を日本語に訳すとともに、ふたたびエルサレムのヤド・ヴァシエムを訪れ、イディッシュ語資料の収集にあたった。これによって、カツェネルソンがゲットーにおけるユダヤ人の「精神的」な闘いを重視していたことが鮮明になった。その成果を論文「ワルシャワ・ゲットーにおける『闘い』——イツハク・カツェネルソンの大作『ラジンのレベ』をめぐって」を執筆し、公表した。また、前年度に翻訳した『救済の星』をめぐって、1920年代初頭からユダヤ人／ドイツ人の線引きをめぐる問題が切迫していたことを明らかにした。

この間の研究方法は、テキストの読み込みと翻訳、インタビューである。

### 3. 現在までの達成度

②おおむね順調に進展している。

イスラエルの状況によってはヤド・ヴァシエムでの資料収集が危ぶまれたが、1年目と3年目にヤド・ヴァシエムで十分な調査ができたため、おおむね順調に研究は進展している。

### 4. 今後の研究の推進方策

今後は、これまでの研究成果をカツェネルソンとツケルマンを軸に著作の形でまとめ

あげること、少なくともその基礎を固めておくことが重要な課題となる。そのためにも、2010年度にもう一度ワルシャワのユダヤ史研究所を訪れ、最終的な資料収集を行う必要がある。また、カツェネルソンのワルシャワ・ゲットーにおける主要なイディッシュ語作品を翻訳刊行をめざすことも、今後の研究推進のだいじな柱になると考えられる。

#### 5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計 1件)

- ① 細見和之、ワルシャワ・ゲットーにおける「闘い」——イツハク・カツェネルソンの大作「ラジンのレベ」をめぐる、人間科学：大阪府立大学紀要、第5号、63-89、2010年、査読無

[学会発表] (計 3件)

- ① 細見和之、ローゼンツヴァイク『救済の星』を読む、神戸・ユダヤ文化研究会、2009年9月27日、こうべまちづくり会館
- ② 細見和之、ワルシャワ・ゲットーから見えるもの、神戸・ユダヤ文化研究会、2009年3月22日、兵庫県私学会館
- ③ 細見和之、ヨーロッパ、イスラエルへの旅から、神戸・ユダヤ文化研究会、2008年1月26日、こうべまちづくり会館

[図書] (計 2件)

- ① 細見和之、村岡晋一、小須田健訳、みすず書房、ローゼンツヴァイク『救済の星』、2009年、総695頁
- ② 細見和之、笠原一人、寺田匡、季村敏夫ほか、昭和堂、記憶表現論、2009年、25-61 (細見和之「記憶のエコノミーに抗して」)